

新体制でスタート!!!

常任委員会

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、所管事項のほか、それぞれテーマを掲げて調査・審査を行います。

総務常任委員会

市長公室・総務部・市民生活部・議会事務局・会計課・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会・公平委員会・監査委員の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項を調査・審査します。



◎増田 俊夫



○市村 香



林 悦子



塚本 明



橋本位知朗



相田 一良



増田 豊



岩見 正純

文教厚生常任委員会

保健福祉部・福祉事務所・教育委員会・公民館活動の所管に属する事項を調査・審査します。



◎飯島 重男



○萩原 剛志



高田 重雄



大塚 秀喜



潮田 新正



小高 友徳



菊池 伸浩

建設経済常任委員会

経済部・建設部・上下水道部・農業委員会の所管に属する事項を調査・審査します。



◎中川 泰幸



○鈴木 裕一



上野 征一



増田 昇



川那子秀雄



皆川 光吉



仁平 実



議長 林 悦子



副議長 川那子秀雄

就任あいさつ

課題山積みスピード感を持って

日本は今、大きな時代の節目にあります。国にあっては、敗戦後六十五年。当然と思っていた安全と環境が危機にさらされ、少子高齢化と経済不況に、国民の将来への不安は、いや増すばかりとなっています。一方、桜川市のような地方の小規模市町村では、若年人口の減少が即、財政規模の縮小、何より希望の減少につながり、地域の活力が奪われつつある現実があります。

このような状況下では、行政サービスと住民負担のバランスを速やかに再構築していくことが、市政の課題となります。公立病院や小中学校の再編統合問題も、社会の変化の中で起きている問題です。しかし、世の中は、効率だけを唯一の基準にして成り立っているわけではありません。住民に本当に必要なサービスは何か。市が行わなければならないことは何か。コスト最優先だけでは、解決できない課題もあります。

議会は議論と決定の場です。この難局に、議長・副議長の大役を預かることに、責任の重さを感じます。しかし、先人先輩が築いた伝統を守り、数々の教えを生かしながら、将来を担う若い世代が幸せに、誇りを持って暮らせる桜川市にしていきたいために、パトンを担えることは光栄でもあります。

終わりに、市民の皆様のお一人一人にまちづくりへのご協力をお願い申し上げます。議長・副議長就任の挨拶とさせていただきます。

◎委員長 ○副委員長

監査委員

相田 一良

議会運営委員会(定数8人)

◎潮田 新正 ○市村 香 増田 昇
増田 俊夫 大塚 秀喜 相田 一良
中川 泰幸 飯島 重男

議会広報特別委員会(定数6人)

◎市村 香 ○萩原 剛志 増田 俊夫
岩見 正純 仁平 実 鈴木 裕一

県西総合病院組合議会議員(定数6人)

林 悦子 上野 征一 川那子秀雄
増田 俊夫 相田 一良 鈴木 裕一

筑西広域市町村圏事務組合議会議員(定数5人)

皆川 光吉 飯島 重男 市村 香
仁平 実 萩原 剛志

筑北環境衛生組合議会議員(定数6人)

林 悦子 増田 昇 橋本位知朗
増田 豊 中川 泰幸 菊池 伸浩

農業委員(定数2人)

上野 征一 潮田 新正